

**高校3年生を対象とした  
選挙等に関する意識調査  
集計結果**

**令和6年3月**

**高知県選挙管理委員会**

# 高校3年生を対象とした選挙等に関する意識調査集計結果

## 目次

1	調査の概要.....	2
	(1) 背景・目的.....	2
	(2) 対象者.....	2
	(3) 調査方法.....	2
	(4) 調査期間.....	2
	(5) 回答者数.....	2
2	集計結果.....	3
	(1) 調査結果と単純集計グラフ.....	3
	(2) クロス集計.....	22

## 1 調査の概要

### (1) 背景・目的

近年行われた選挙では低投票率が続いており、特に若者の投票率の低下は顕著で、令和5年4月に実施された高知県議会議員選挙における10代の投票率は17.37%と、過去に類をみない低水準となった。

こうした状況を受け、これまで実施してきた若者の投票率向上の取り組みの見直しや充実、新たな啓発施策の検討を目的に、以下のとおりアンケート調査を実施した。

#### 【参考】近年選挙における10代投票率

〈高知県（全数調査）〉

	H28 参	H29 衆	H31 県議	R1 参	R1 知事	R3 衆	R4 参	R5 県議	R5 参補	R5 知事
18歳	35.29	44.01	25.30	28.86	34.37	45.40	30.27	18.27	29.22	29.64
19歳	26.58	23.70	21.26	20.09	18.42	29.13	21.05	16.49	14.00	14.46
10代	30.93	34.03	23.26	24.58	26.69	37.22	25.63	17.37	21.61	22.11
全体	45.52	51.87	46.58	46.34	47.67	57.34	47.36	41.29	40.75	42.47

〈全国（H31統一選以降は抽出、統一選は県議選の平均）〉

	H28 参	H29 衆	H31 統一	R1 参	R1 知事	R3 衆	R4 参	R5 統一	R5 参補	R5 知事
18歳	51.28	47.87		35.62		50.36	40.06			
19歳	42.30	33.25		28.83		35.93	30.66			
10代	46.78	40.49		32.28		43.21	35.42			
全体	54.70	53.68	44.02	48.80		55.93	52.05	41.85		

### (2) 対象者

高知県内の高等学校（50校）に在籍する3年生（4,655人）

なお、アンケート実施までに協力不可の申し出があった学校については、アンケート対象者から除外している。

### (3) 調査方法

公立学校：一人一台タブレットによる電子アンケートにより実施

特別支援学校、私立学校：紙媒体でのアンケートによる回答

### (4) 調査期間

令和5年11月27日から令和6年1月12日

### (5) 回答者数

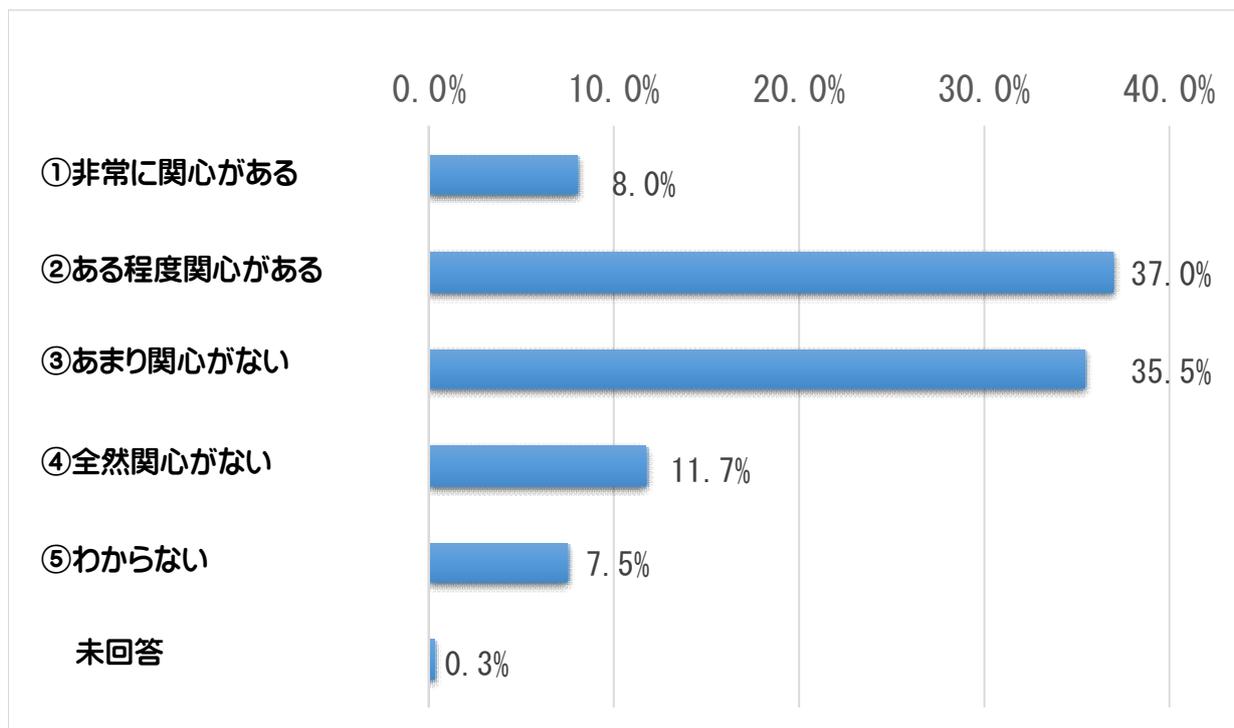
44校（3,556人）から回答があり、回答率は76.4%だった。

## 2 集計結果

### (1) 調査結果と単純集計グラフ

#### 政治への興味・関心について

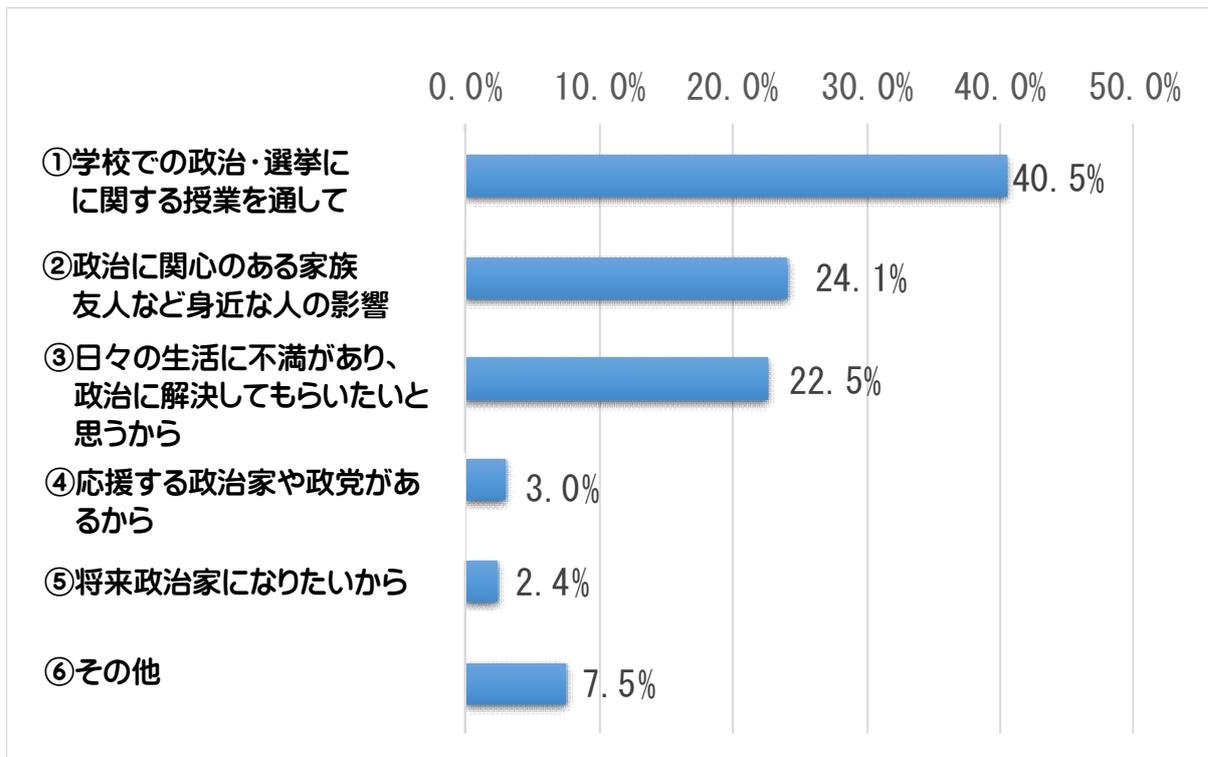
Q1 あなたは、国や地方の政治にどの程度関心がありますか。



#### 【結果】

政治への関心について尋ねたところ、「①非常に関心がある」、「②ある程度関心がある」と答えたのは合わせて45.0%であった一方で、「③あまり関心がない」、「④全然関心がない」と回答したのは47.2%となり、政治に関心のない生徒が政治に関心のある生徒を上回る結果となった。

**Q1-1** Q1で「①,②」と回答した方にお聞きします。政治に関心をもつようになったきっかけは何ですか。(複数回答可)

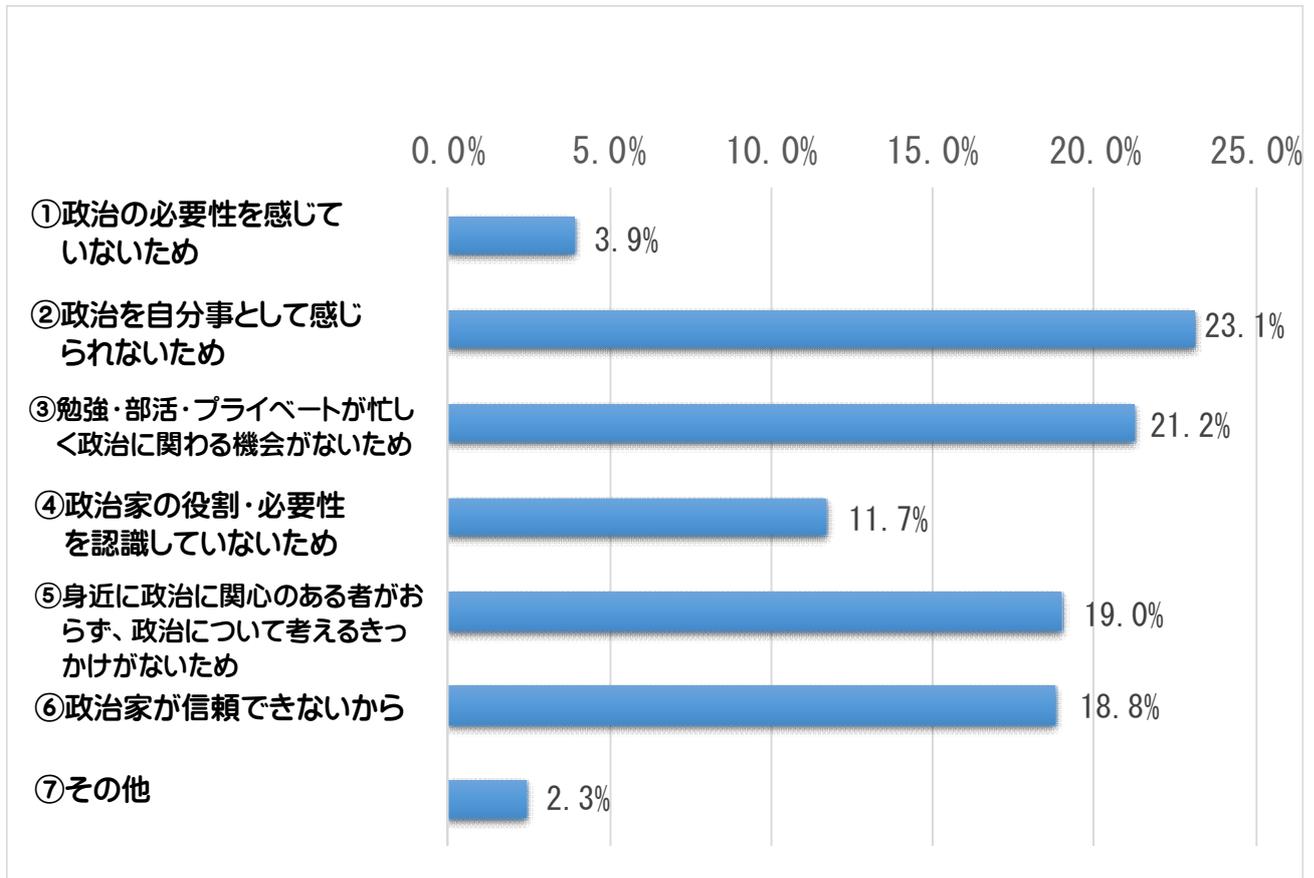


**【結果】**

政治に関心をもつようになったきっかけを尋ねたところ、「①学校での政治・選挙に関する授業を通して」(40.5%)と答えた割合が最も高く、次に「②家族または友人など身近な人の影響」(24.1%)が続いた。

①と②を合算すると、6割以上の生徒が学校や家族といった周囲の影響をきっかけとして、政治に関心をもつようになったことが分かった。

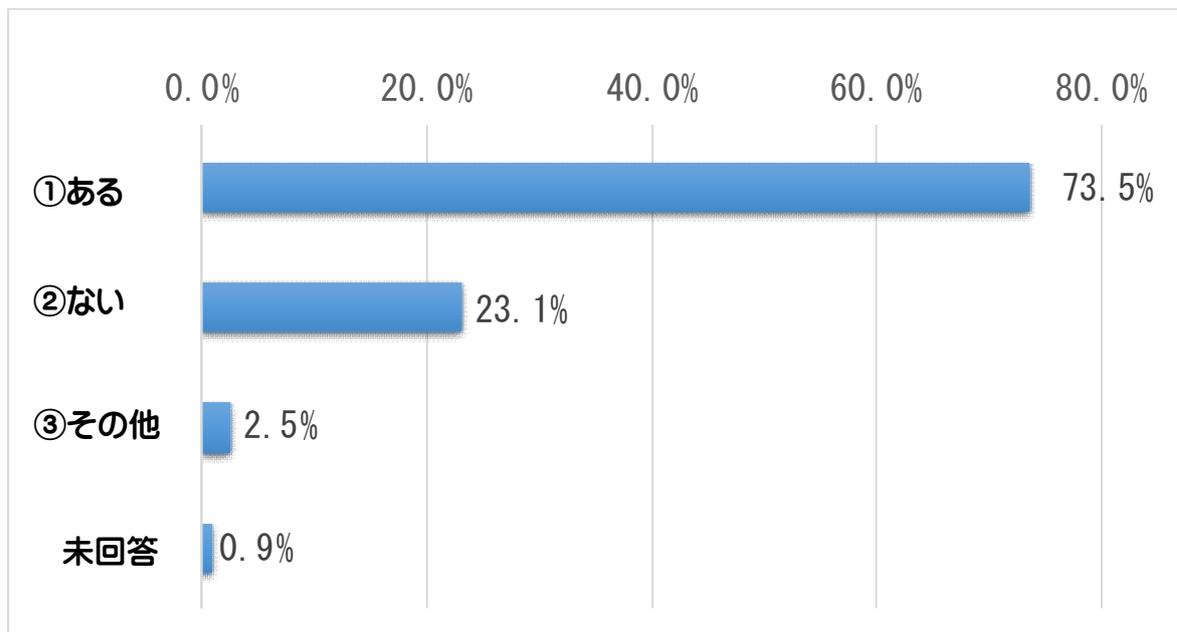
Q1-2 Q1で「③,④,⑤」と回答した方にお聞きします。政治に関心をもてない理由は何ですか。(複数回答可)



**【結果】**

政治に関心をもてない理由を尋ねたところ、「②政治を自分事として感じられないため」(23.1%)と答えた割合が最も高く、次いで「③勉強・部活・プライベートが忙しく、政治に関わる機会がないため」(21.2%)、「⑤身近に政治に関心のある者がおらず、政治について考えるきっかけがないため」(19.0%)の順となった。

**Q2** これまで学校で、政治の意義や重要性について学ぶ授業を受けたことがありますか。

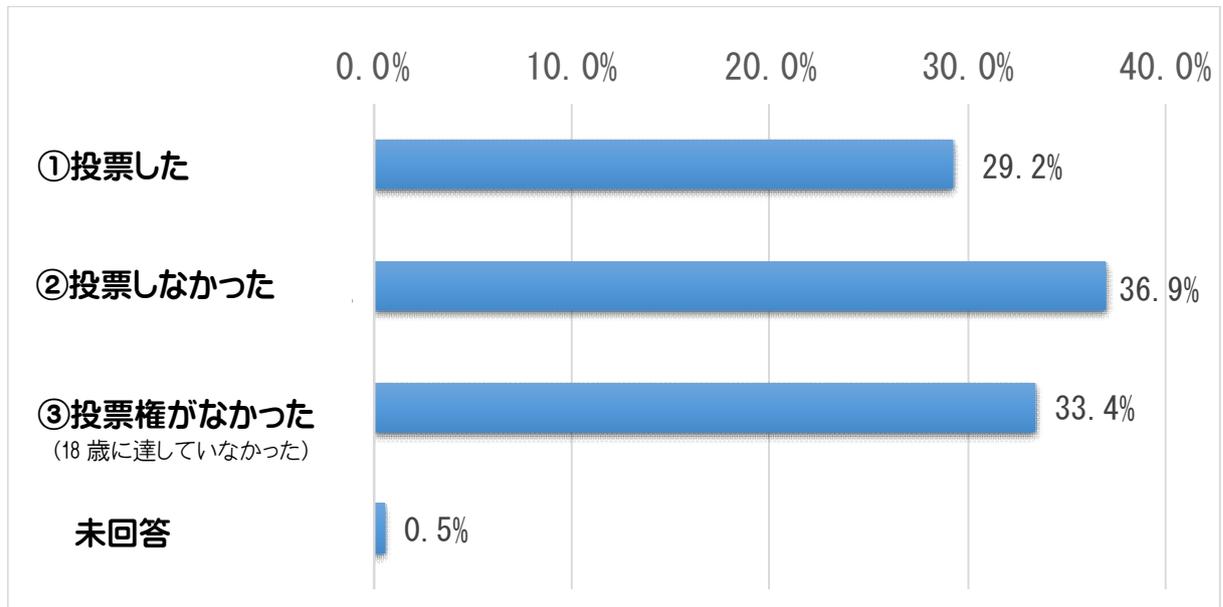


**【結果】**

学校で、政治の意義について学ぶ授業を受けたことがあるか尋ねたところ、「①ある」と回答した生徒は73.5%、「②ない」と回答した生徒は23.1%だった。

## 投票意識について

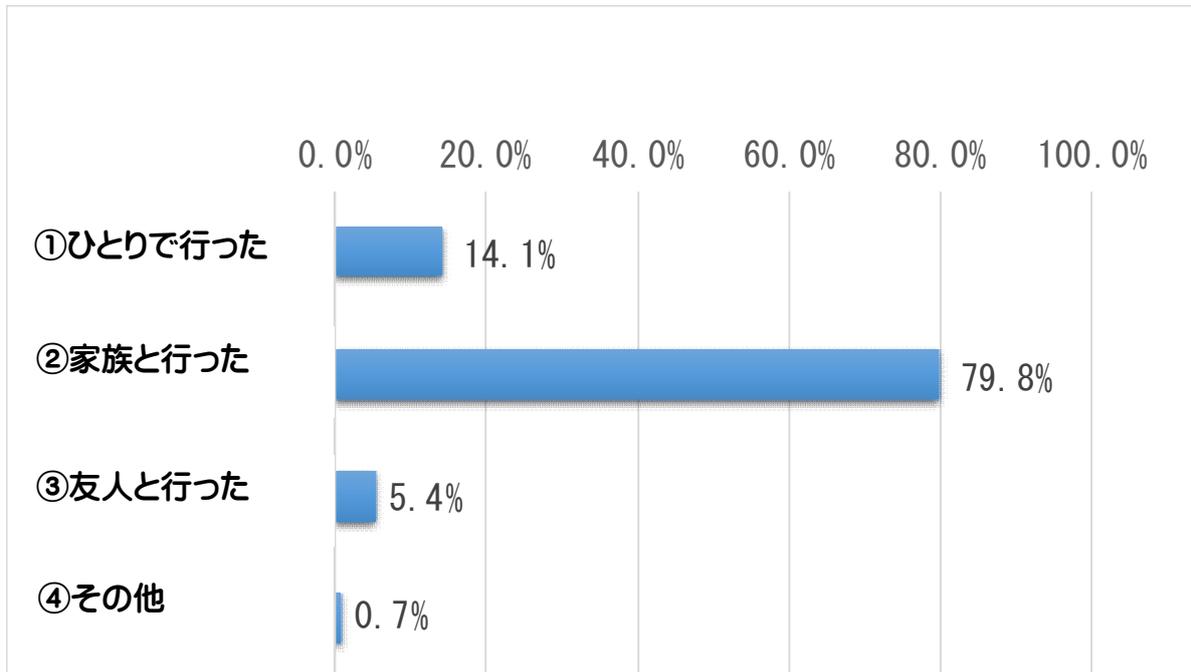
Q3 あなたは、11月26日に実施された高知県知事選挙の投票に行きましたか。



### 【結果】

高知県知事選挙の投票に行ったか尋ねたところ、「②投票しなかった」(36.9%)との回答が「①投票した」(29.2%)を上回る結果となった。

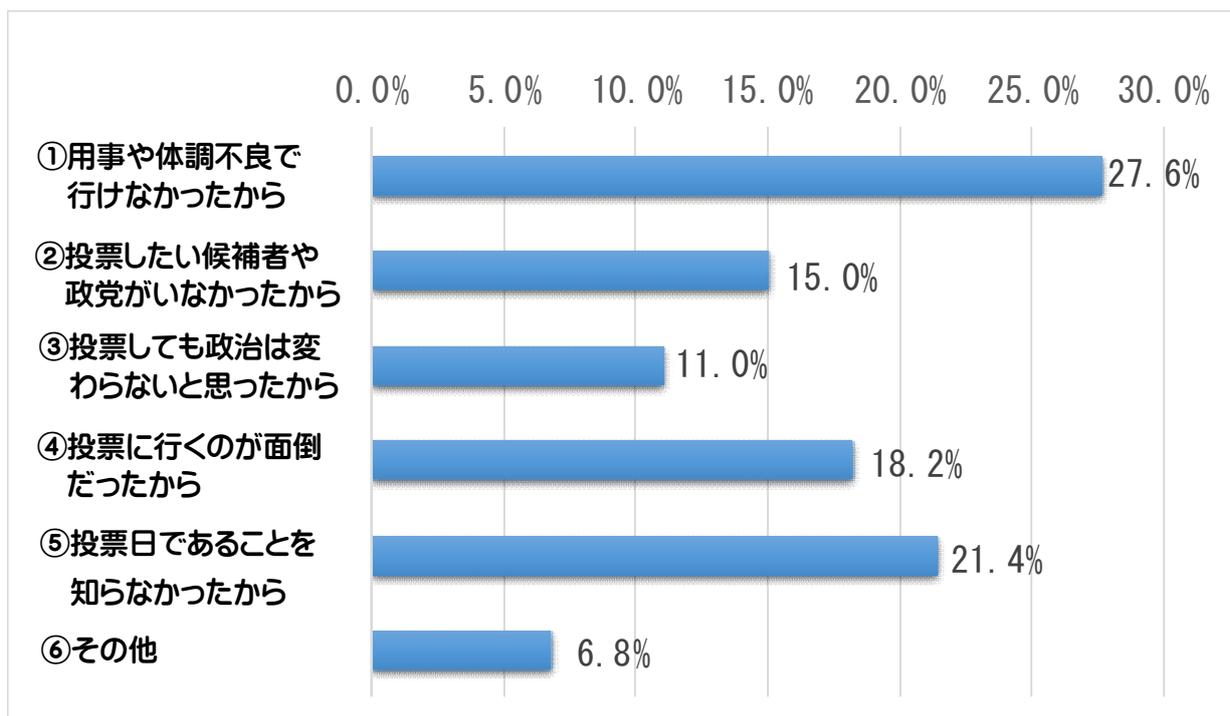
**Q3-1** Q3で「①」と回答した方にお聞きします。あなたは、誰と投票に行きましたか。



**【結果】**

Q3で高知県知事選挙で投票に行ったと回答した生徒に、誰と投票に行ったか尋ねたところ、「②家族と行った」(79.8%)という回答が全体の8割近くを占めた。

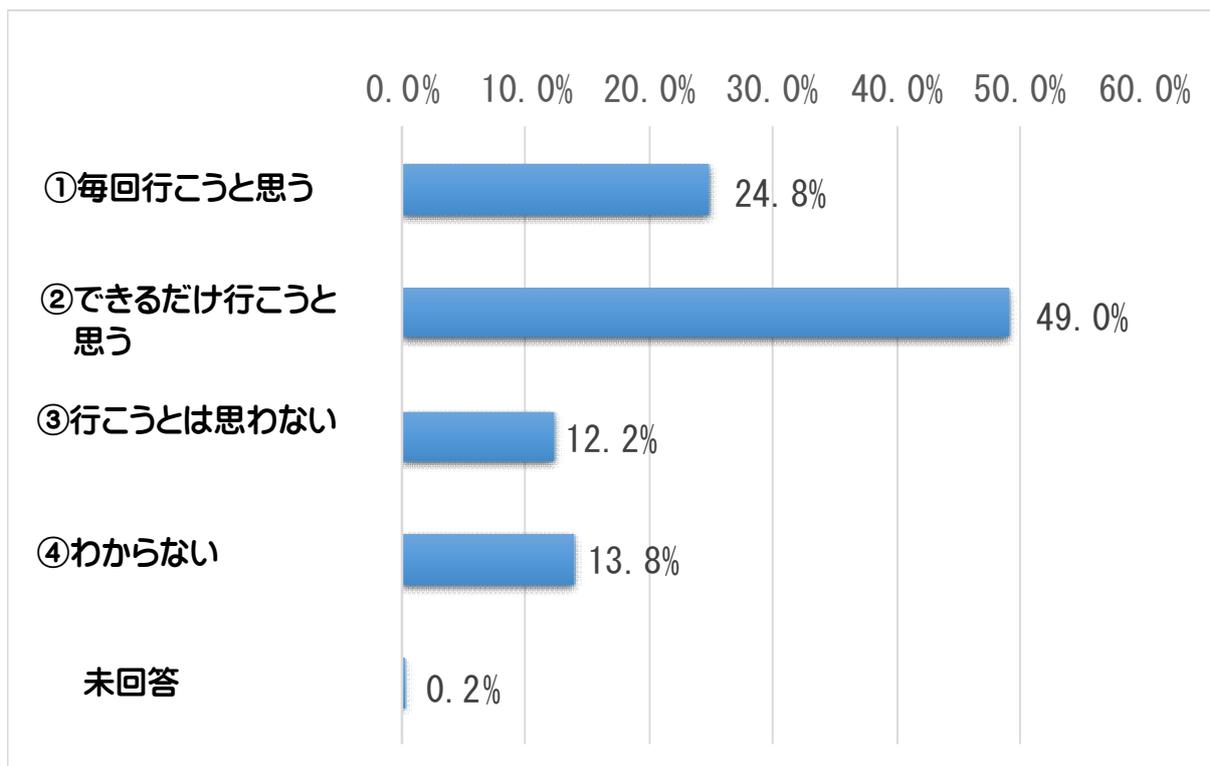
**Q3-2** Q3で「②」と回答した方にお聞きします。投票しなかった理由は何ですか。(複数回答可)



**【結果】**

Q3で高知県知事選挙の投票に行かなかったと回答した生徒に、その理由を尋ねたところ、「①用事や体調不良で行けなかった」(27.6%)と回答した割合が最も高く、次いで「⑤投票日であることを知らなかった」(21.4%)、「④投票に行くのが面倒だったから」(18.2%)の順となった。

**Q4** 来年以降に行われる選挙では、投票に行こうと思いますか。

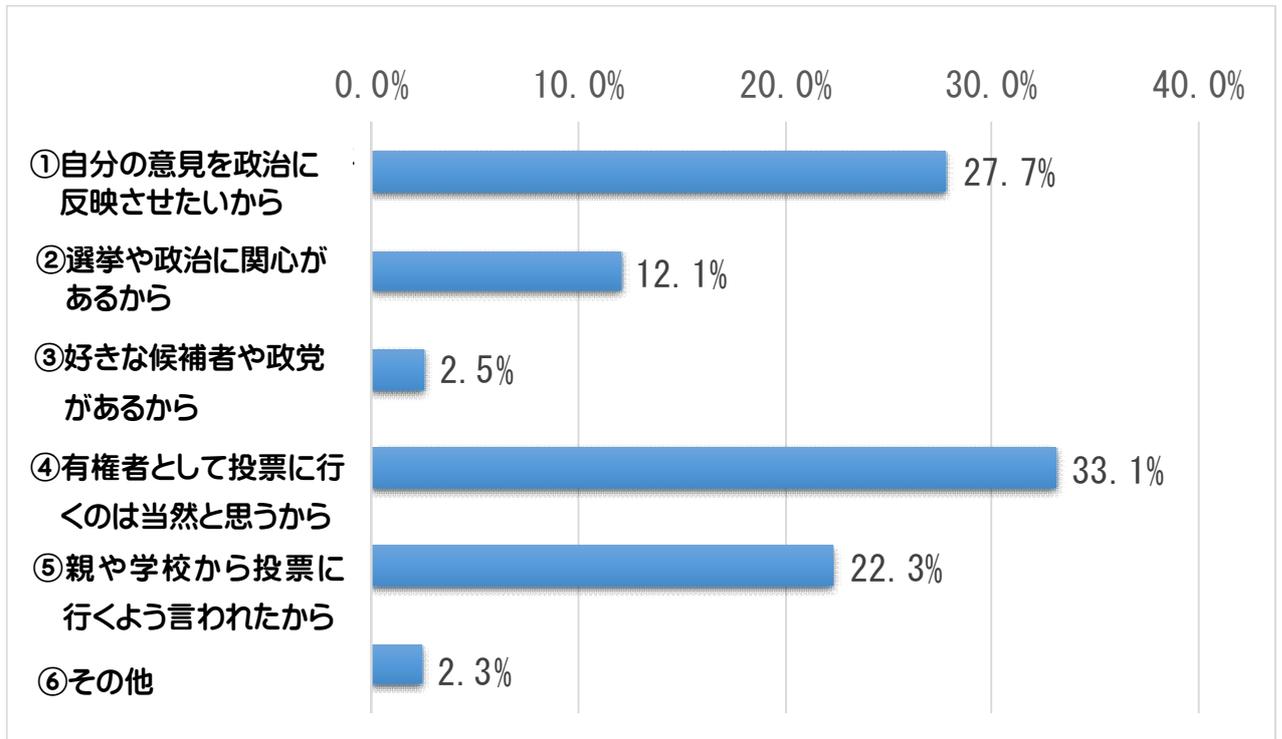


**【結果】**

来年以降に行われる選挙で投票に行こうと思うか尋ねたところ、「①毎回行こうと思う」(24.8%)、「②できるだけ行こうと思う」(49.0%)と回答した生徒は、合わせて73.8%だった。

一方で、「③行こうとは思わない」(12.2%)、「④わからない」(13.8%)と回答した生徒は、合わせて26.0%となった。

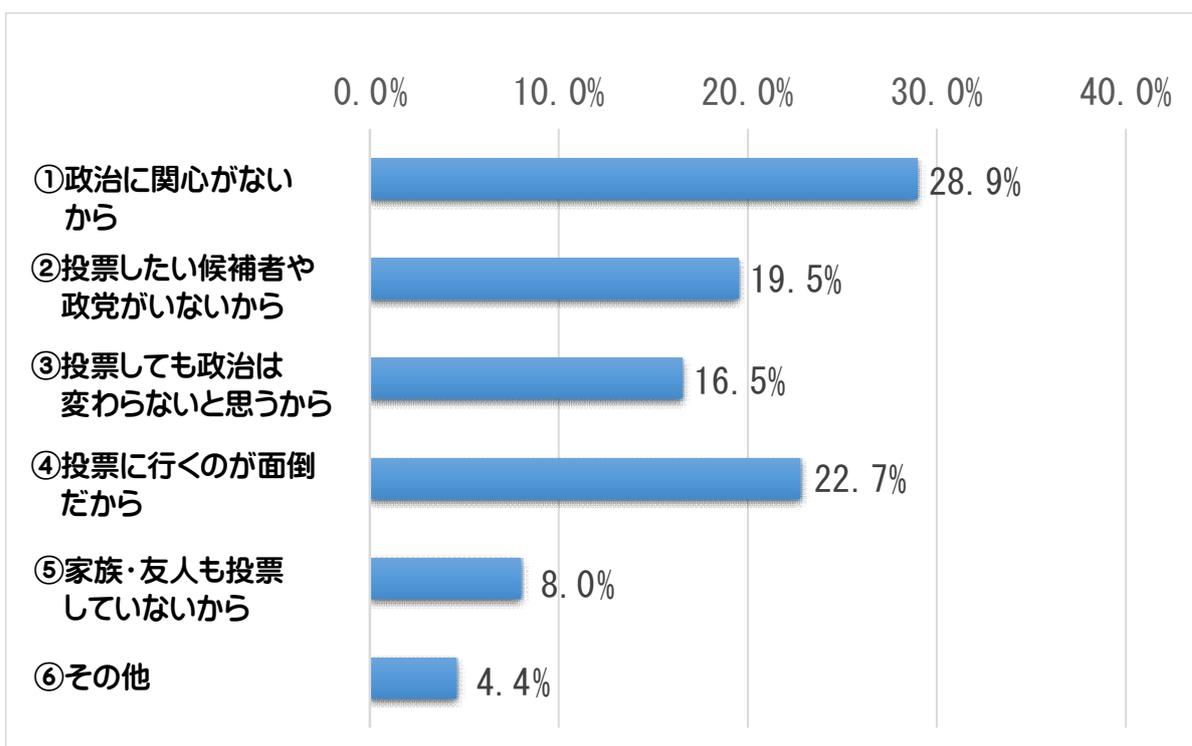
**Q4-1** Q4で「①,②」と回答した方にお聞きします。投票に行こうと思う理由は何ですか。  
(複数回答可)



**【結果】**

Q4で「①投票に毎回行こうと思う」または「②できるだけ行こうと思う」と回答した生徒に、その理由を尋ねたところ、「④有権者として投票に行くのは当然と思うから」(33.1%)と回答した割合が最も高く、次いで「①自分の意見を政治に反映させたいから」(27.7%)、「⑤親や学校から投票に行くよう言われたから」(22.3%)の順となった。

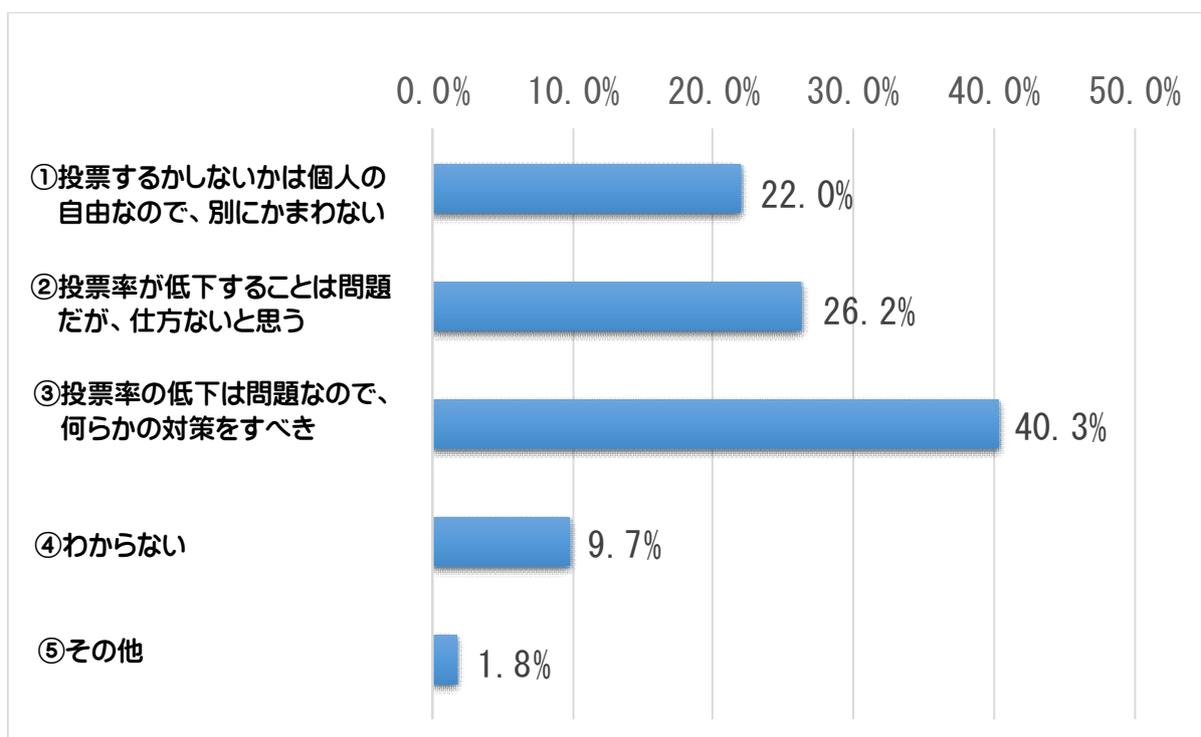
**Q4-2** Q4で「③,④」と回答した方にお聞きします。「投票に行こうとは思わない」または「わからない」とした理由は何ですか。(複数回答可)



**【結果】**

Q4で「③投票に行こうとは思わない」または「④わからない」と回答した生徒に、その理由を尋ねたところ、「①政治に関心がないから」(28.9%)と回答した割合が最も高く、次いで「④投票に行くのが面倒だから」(22.7%)、「②投票したい候補者や政党がないから」(19.5%)の順となった。

**Q5** 最近の選挙では、投票率が低下しています。あなたはこのことについて、どのように考えていますか。

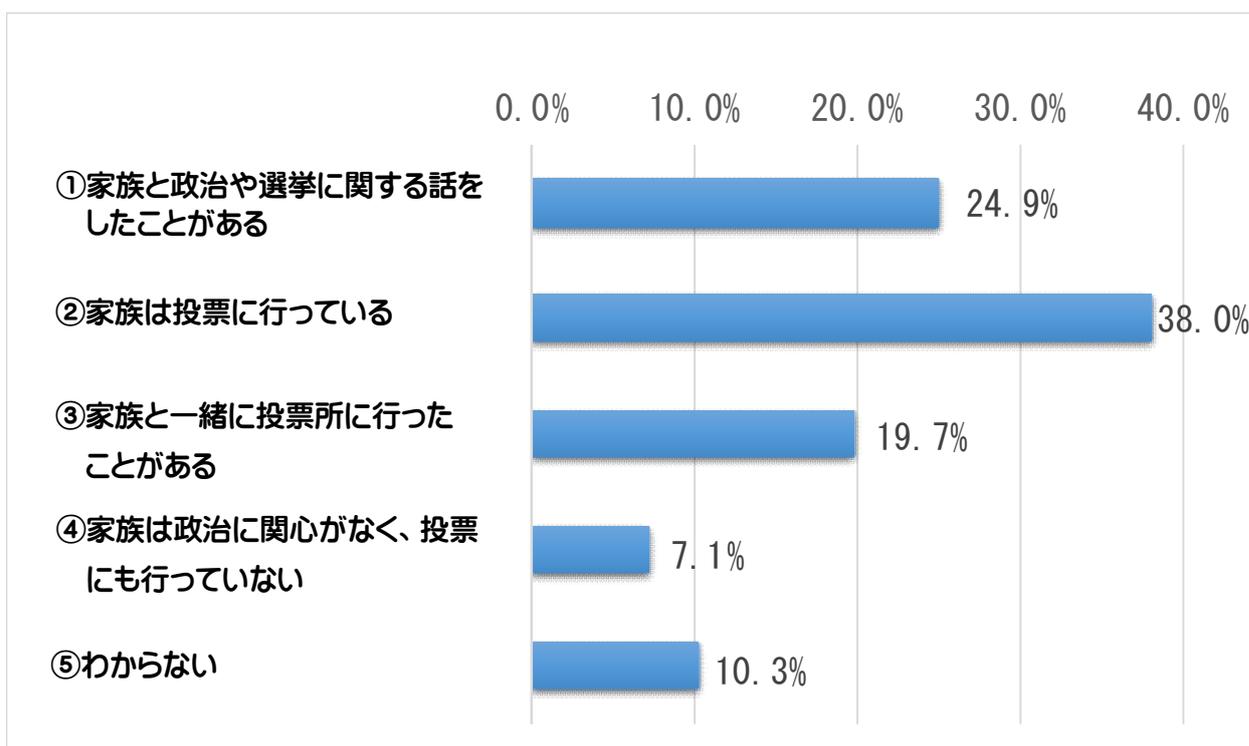


**【結果】**

投票率の低下についてどう考えるか尋ねたところ、「③投票率の低下は問題なので、何らかの対策をすべき」(40.3%)と回答した割合が最も多く、次いで「②投票率の低下は問題だが、仕方ないと思う」(26.2%)、「①投票するかしないかは個人の自由なので、別にかまわない」(22.0%)の順となった。

「③投票率の低下は問題なので、何らかの対策をすべき」と回答した割合が約4割となったほか、「②投票率が低下することは問題だが、仕方ないと思う」を含めて6割を超える生徒が投票率の低下について問題と認識しているという結果となった。

Q6 あなたの家族についてお伺いします。あてはまるものを全て選んでください（複数回答可）



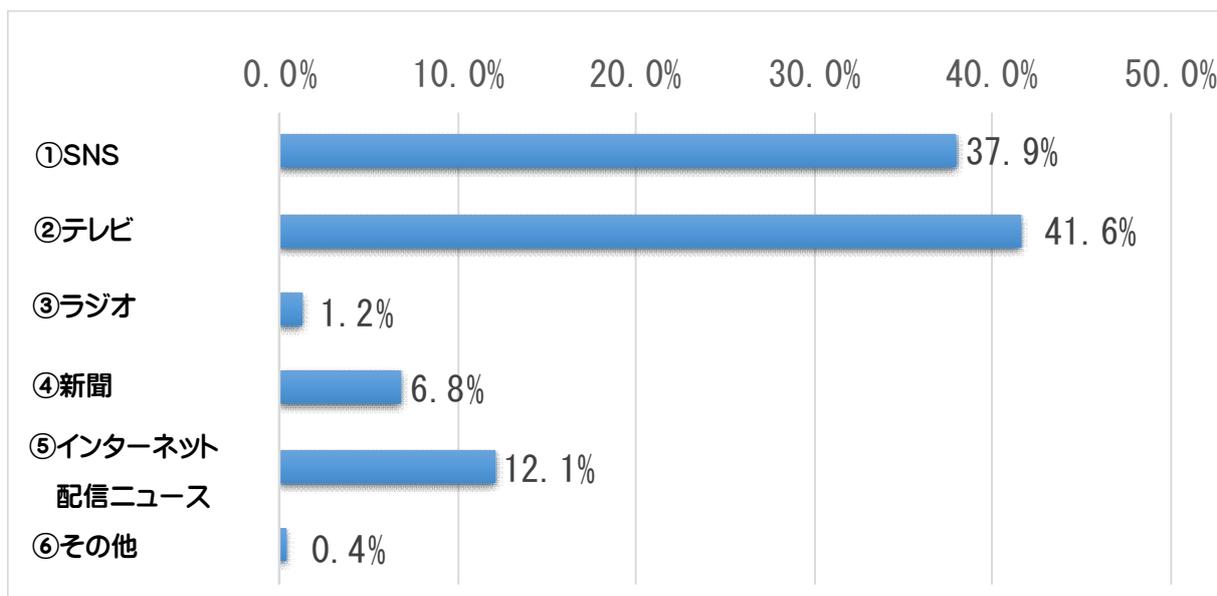
**【結果】**

家族の政治・選挙との関わり方について尋ねたところ、「②家族は投票に行っている」（38.0%）と回答した割合が最も高く、次いで「①家族と政治や選挙に関する話をしたことがある」（24.9%）、「③家族と一緒に投票所に行ったことがある」（19.7%）の順となった。

一方で、「④家族は政治に関心がなく、投票にも行っていない」と回答した割合は7.1%であった。

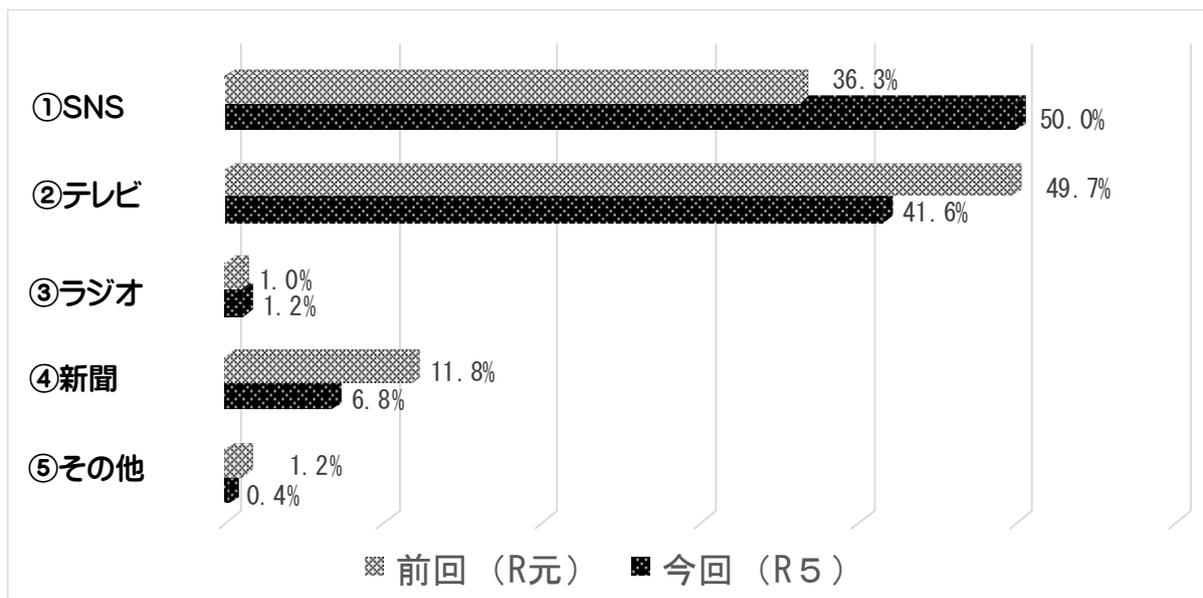
## 政治や選挙の情報収集媒体について

Q7 日々のニュースについて、どのメディアで知ることが多いですか。（複数回答可）



### 【参考】前回（R元年度）との比較

※項目は前回実施時に合わせており、「①SNS」の今回（R5）の値は、上グラフの「①SNS」と「⑤インターネット配信ニュース」を合算したものの。

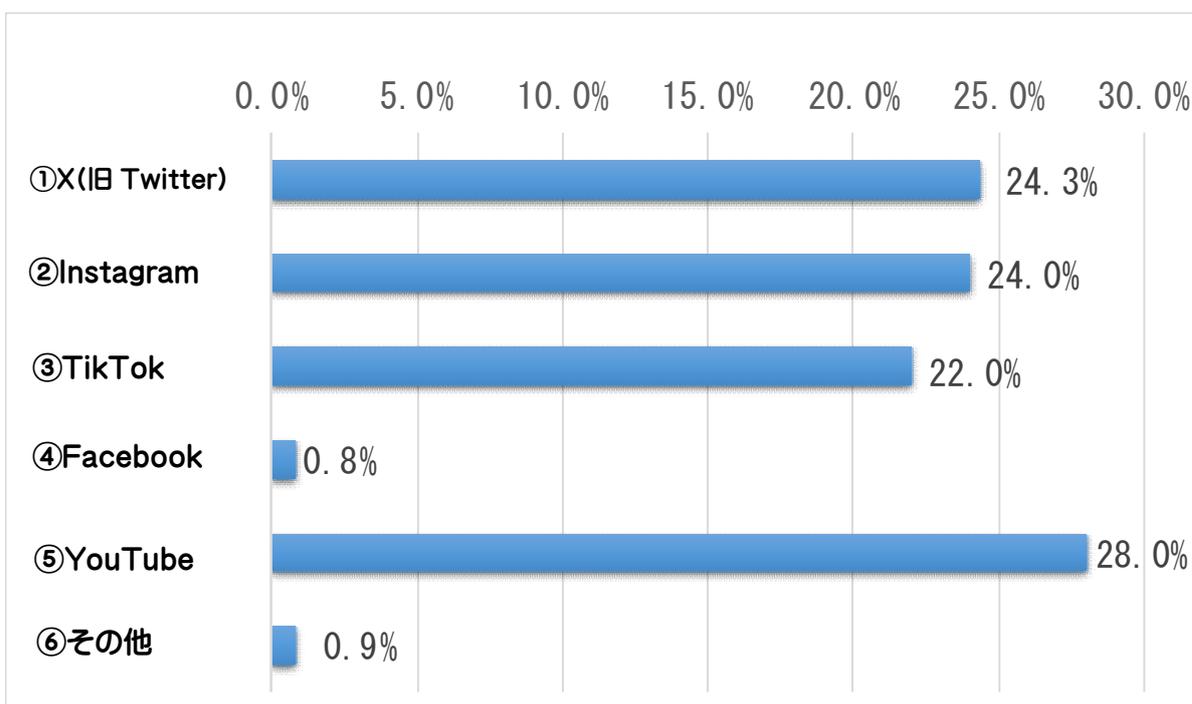


### 【結果】

日々のニュースの情報収集媒体について尋ねたところ、「②テレビ」（41.6%）の割合が最も高く、次いで「①SNS」（37.9%）、「⑤ネット配信ニュース」（12.1%）の順になった。

なお、前回（R元年度）と比較すると、SNSとネット配信ニュースの割合は13.7%増加した一方で、テレビ（△8.1%）と新聞（△5.0%）はそれぞれ減少する結果となった。

**Q7-1** Q7で「①」と回答した方にお聞きします。特によく使うSNSは何ですか。(複数回答可)

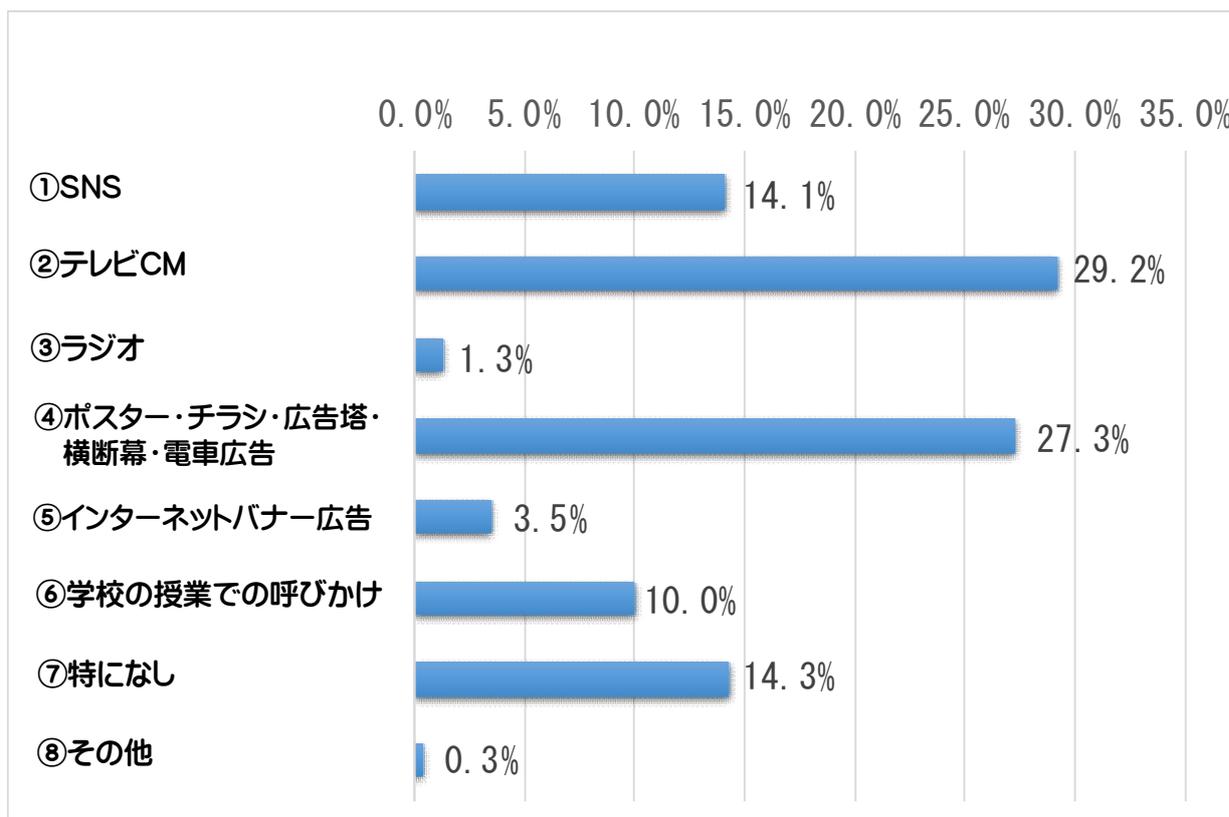


**【結果】**

Q7で「①SNS」と回答した人に、特によく使うSNSについて尋ねたところ、「⑤YouTube」(28.0%)と回答した割合が最も高く、次いで「①X(旧 Twitter)」(24.3%)、「②Instagram」(24.0%)の順となった。

一方で、「④Facebook」と回答した割合は0.8%にとどまり、若い世代にはあまり利用されていないことが分かった。

Q8 選挙管理委員会では、選挙のたびに、色々な方法で投票日のお知らせを行っています。  
あなたが目にしたことのある（印象に残っている）広告は何ですか。（複数回答可）

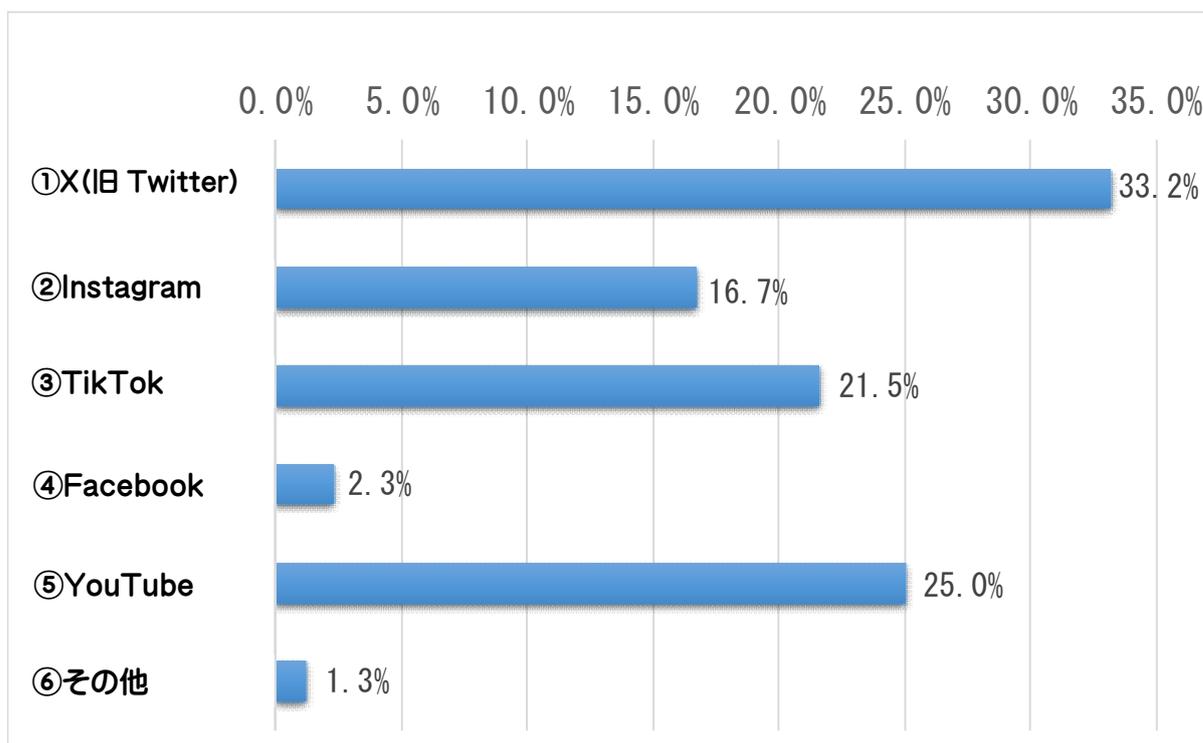


**【結果】**

選挙管理委員会が実施した投票日を周知するお知らせのうち、目にしたことのある（印象に残っている）広告を尋ねたところ、「②テレビCM」（29.2%）が最も多く、次いで「④ポスター・チラシ・広告塔・横断幕・電車広告」（27.3%）との回答が多い結果となった。

一方で、「⑦特になし」と回答した生徒が14.3%と3番目に多く、1割以上の生徒がお知らせを目にしたことがない（印象に残っていない）結果となった。

**Q8-1** Q8で「①」と回答した方にお聞きします。特に目にしたことのあるSNSは何ですか。(複数回答可)

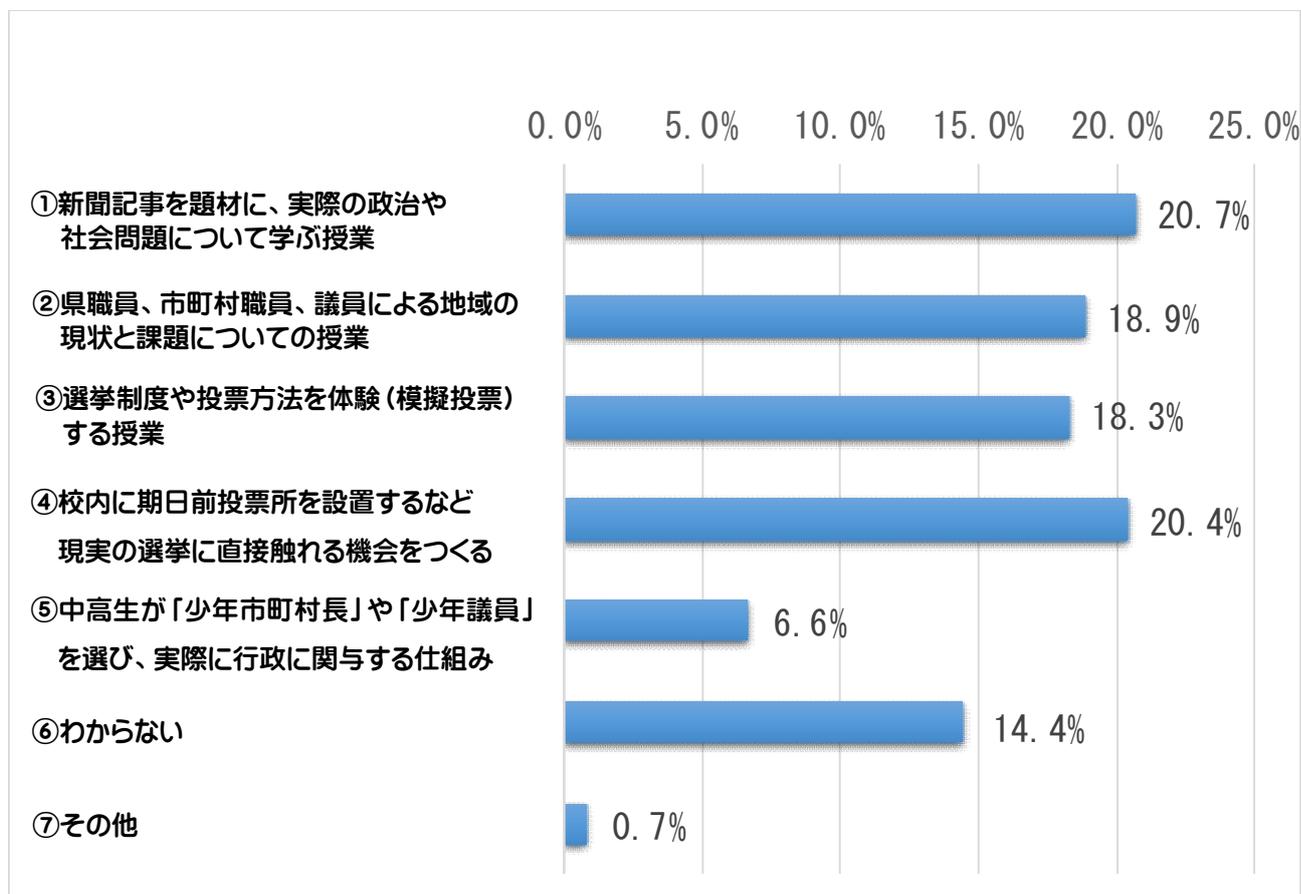


**【結果】**

Q8で「①SNS」と回答した生徒に、特に目にしたことのあるSNSについて尋ねたところ、「①X(旧 Twitter)」(33.2%)と回答した割合が最も高く、次いで「⑤YouTube」(25.0%)、「③TikTok」(21.5%)の順となった。

## 政治・選挙に関する意識を高めるための有効な取り組みについて

Q9 あなたは、若者の政治・選挙に関する意識を高めるために、学校の授業などで、どのような取り組みが有効と考えますか。(複数回答可)

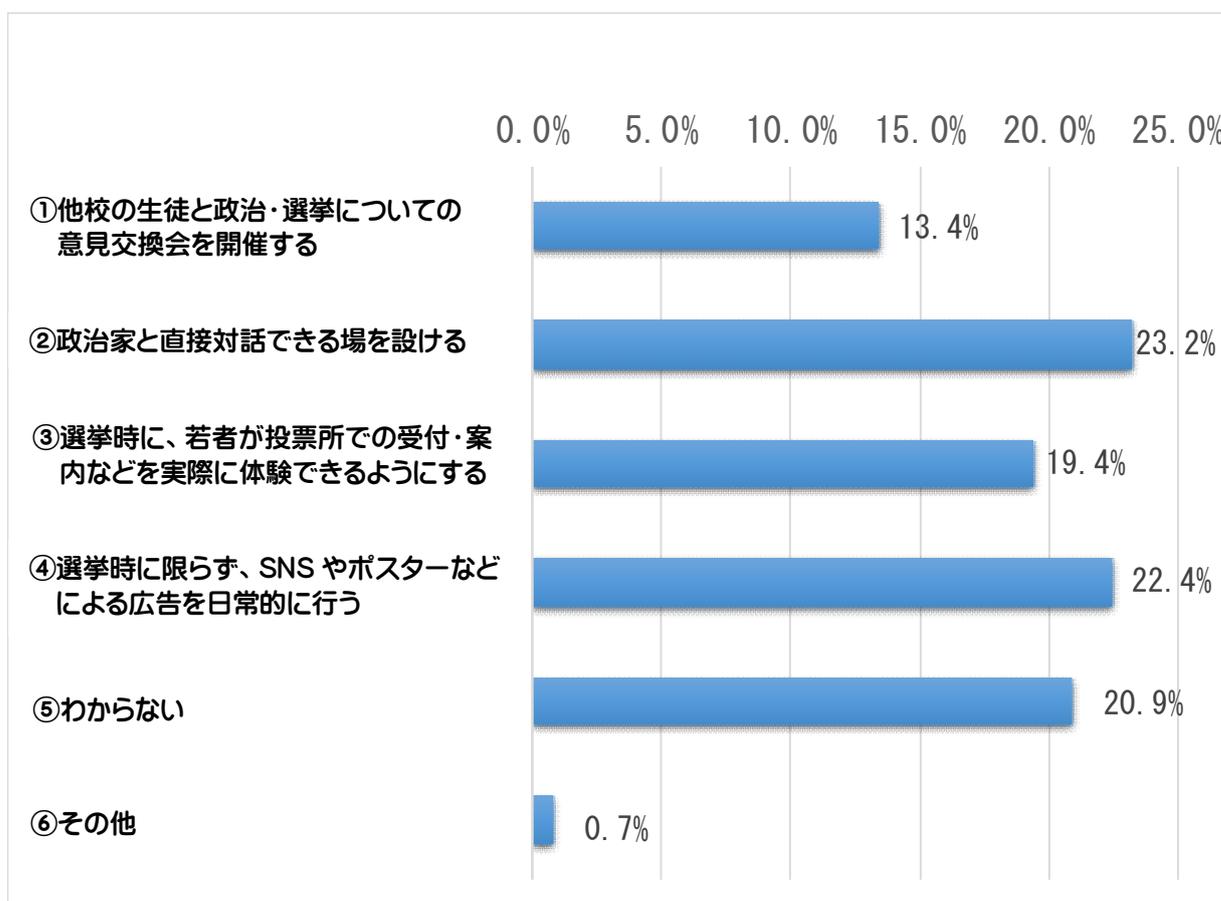


### 【結果】

若者の政治・選挙に関する意識を高めるために行っている学校授業などの有効な取り組みを尋ねたところ、「①新聞記事を題材に、実際の政治や社会問題について学ぶ授業」(20.7%)と回答した割合が最も多く、次いで「④校内に期日前投票所を設置するなど現実の選挙に直接触れる機会をつくる」(20.4%)、「②県職員、市町村職員、議員による地域の現状と課題についての授業」(18.9%)の順となった。

このように、当事者である生徒としては、より実際の課題に触れたり実際の選挙に関わるなど、政治や選挙をリアルに感じられる取組が有効と考えていることが分かった。

**Q10** あなたは、若者の政治・選挙に関する意識を高めるために、日常生活（学校外）の中で、どのような取り組みが有効と考えますか。（複数回答可）



**【結果】**

若者の政治・選挙に関する意識を高めるための学校外における有効な取り組みを尋ねたところ、「②政治家と直接対話できる場を設ける」（23.2%）と回答した割合が最も高く、次いで「④選挙時に限らず、SNS やポスターなどによる広告を日常的に行う」（22.4%）、「⑤わからない」（20.9%）の順となった。

また、「③選挙時に、若者が投票所での受付・案内などを実際に体験できるようにする」（19.4%）と回答した割合も高かったことから、Q9と同様に、生徒は、政治や選挙をよりリアルに感じられる取組が有効と考えていることが分かった。

**Q11** その他にあなたが有効と考える取り組みがあれば記載してください。

下表は、自由記述による回答の中から、今後、選挙啓発を検討するうえで特に参考となると思われる意見の要旨を、「学校授業」「授業以外の取組」「投票環境や制度」の3類型に分類してとりまとめたもの。

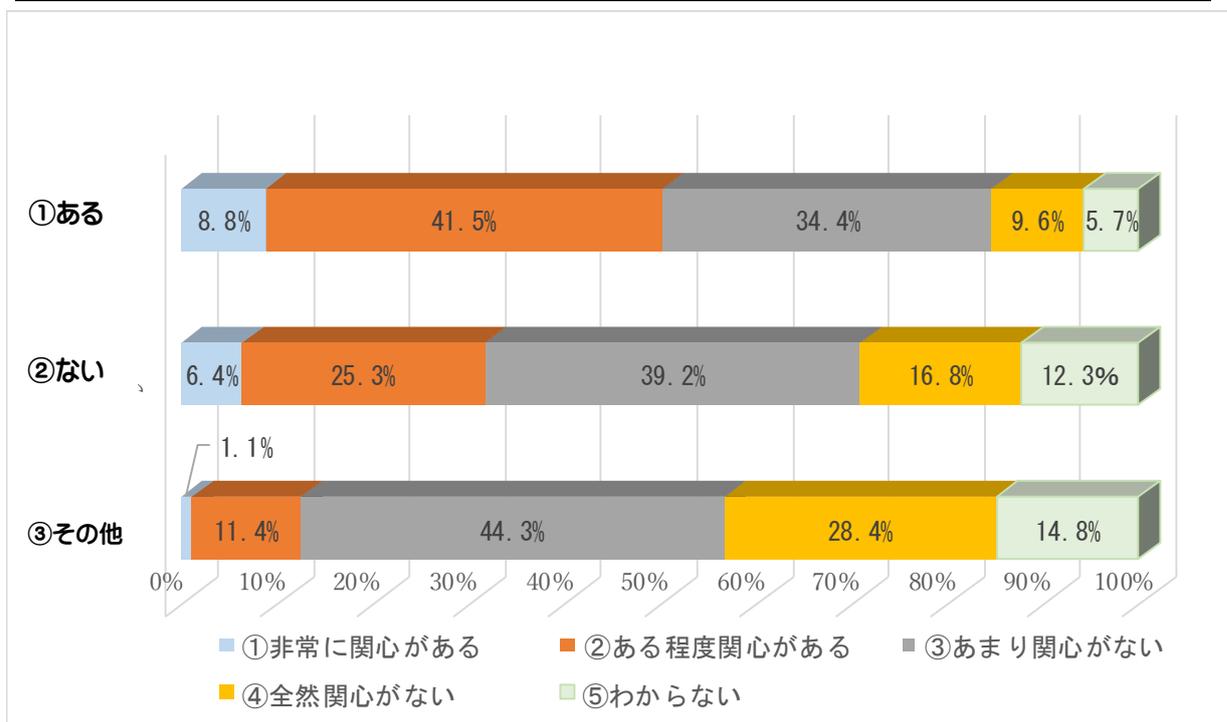
学校授業に関する意見	自分の一票では何も変わらないと思っている人が多いと思うので、投票したい候補者や政党がなければ白紙投票でもいいことや、選挙は何かを変えるというよりもイエスカノーかという自分の意志を伝える機会であることを授業で言ってほしい
	国民のために政治家がどんな仕事をしてくれているのかは日本国民として知る必要があると思うので、学校の授業で教える機会を増やすべき
	選んで終わりの存在にならないよう、政治家の当選後の活動を定期的に紹介してほしい（特定の政治家の紹介でなくても、一般に政治家になったらまず何をして、どういう日々を送っているのかなど）
	政治的ないざござなどは取り除いた上で各政党の方針を聞いたり、各政党の政策や思想をまとめたデータや、今の政治を分かりやすく相関図などで表したものを授業で取り扱うこと
	18歳になった高校生は全員で投票に行くなど、いわば1つの学校行事のようなものにするなどで、投票率は高まると思う
	投票日の前に学校の授業を1時間利用して、それぞれの候補者の下調べをしたらいいと思う
授業以外の取組に関する意見	親世代に子供を投票所に連れて行くことを促す（ただ連れて行くだけでも子供の記憶には残る）
	若者と議員の座談会はよい取組と思うが、任意では行かない可能性も高く、大学推薦で使えるといったメリットがほしい
	市や、県の議会や、国会議事堂に見学に行く（小学生のうちに行っておくと印象に残りやすい）
	候補者が載っているポスターのようなものを校内に貼ったら、政治を身近に感じられるし、友達との意見交流の機会にもなる
	選挙の必要性を若者にわかりやすく伝えるポスターなどを作る
学校などで先生が政治の重要性を語るだけでは一部の人にしか響かないので、実際に政治を行っている人の講演などを行うことによって考える機会を増やすなど、子供の見聞や考えの幅を広げてあげることが、投票参加に繋がりやすいと考える	
投票環境や制度に関する意見	選挙に行くことによる特典があればよいと思う
	駅など若者が利用するところに投票所を置く

## (2) クロス集計

ここからは、これまでの各設問ごとの調査結果からさらに分析を深めるため、クロス集計によって算出した結果を述べていく。

### ①政治への関心（Q1）×学校での政治に関する授業の受講有無（Q2）

Q1 \ Q2	①非常に興味がある	②ある程度関心がある	③あまり関心がない	④全然関心がない	⑤わからない
①ある	8.8%	41.5%	34.4%	9.6%	5.7%
②ない	6.4%	25.3%	39.2%	16.8%	12.3%
③その他	1.1%	11.4%	44.3%	28.4%	14.8%



#### 【結果】

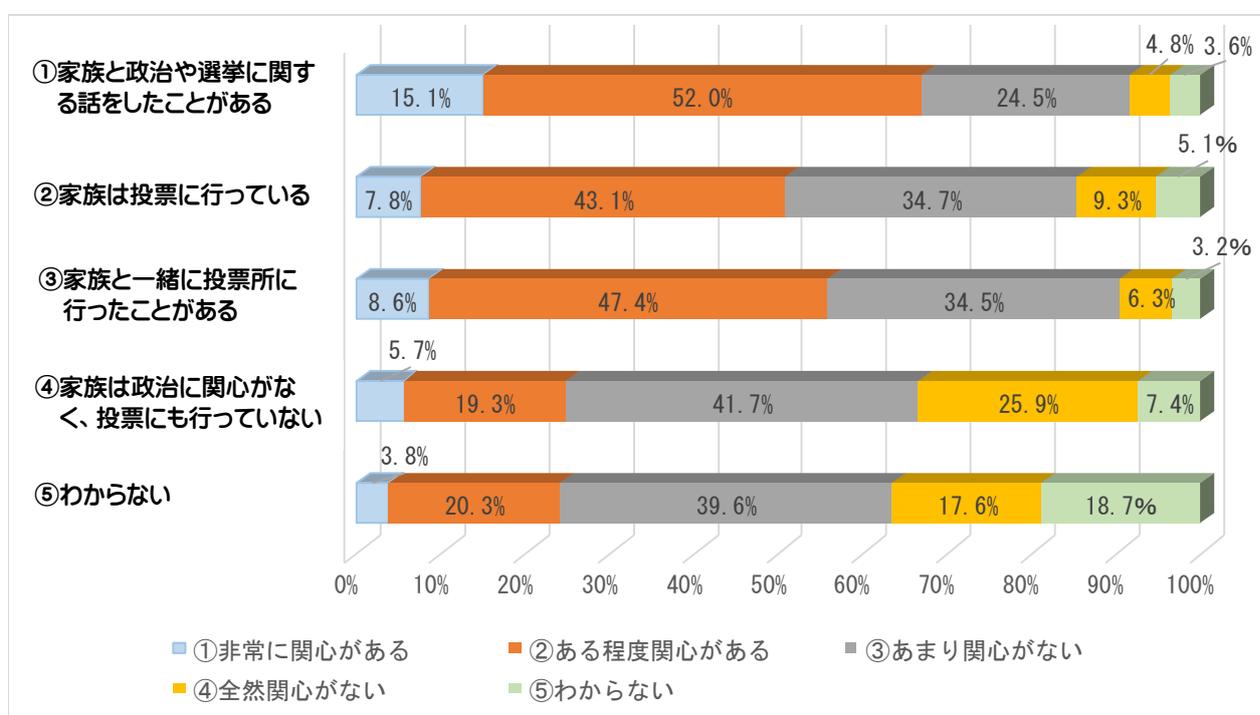
政治に関する授業の受講有無に関する質問（Q2）で「①ある」と回答した生徒のうち、Q1で政治への興味・関心が「①非常にある」または「②ある程度ある」と回答した人の割合は、約5割となった。

一方で、授業の受講が「②ない」と回答した生徒のうち、政治への興味・関心が「①非常にある」または「②ある程度関心がある」と回答した生徒の割合は、3割程度にとどまった。

このことから、政治に関する授業は、若者の政治への興味・関心に一定程度有効であることは分かったが、授業を受講していても約半数の生徒しか政治に関心がない結果となっており、授業が十分な効果を発揮していない可能性を示唆する結果となった。

②家族の政治・選挙への関心（Q6）×政治への関心（Q1）

Q6 \ Q1	①非常に関心がある	②ある程度関心がある	③あまり関心がない	④全然関心がない	⑤わからない
①家族と政治や選挙に関する話をしたことがある	15.1%	52.0%	24.5%	4.8%	3.6%
②家族は投票に行っている	7.8%	43.1%	34.7%	9.3%	5.1%
③家族と一緒に投票所に行ったことがある	8.6%	47.4%	34.5%	6.3%	3.2%
④家族は政治に関心がなく、投票にも行っていない	5.7%	19.3%	41.7%	25.9%	7.4%
⑤わからない	3.8%	20.3%	39.6%	17.6%	18.7%



【結果】

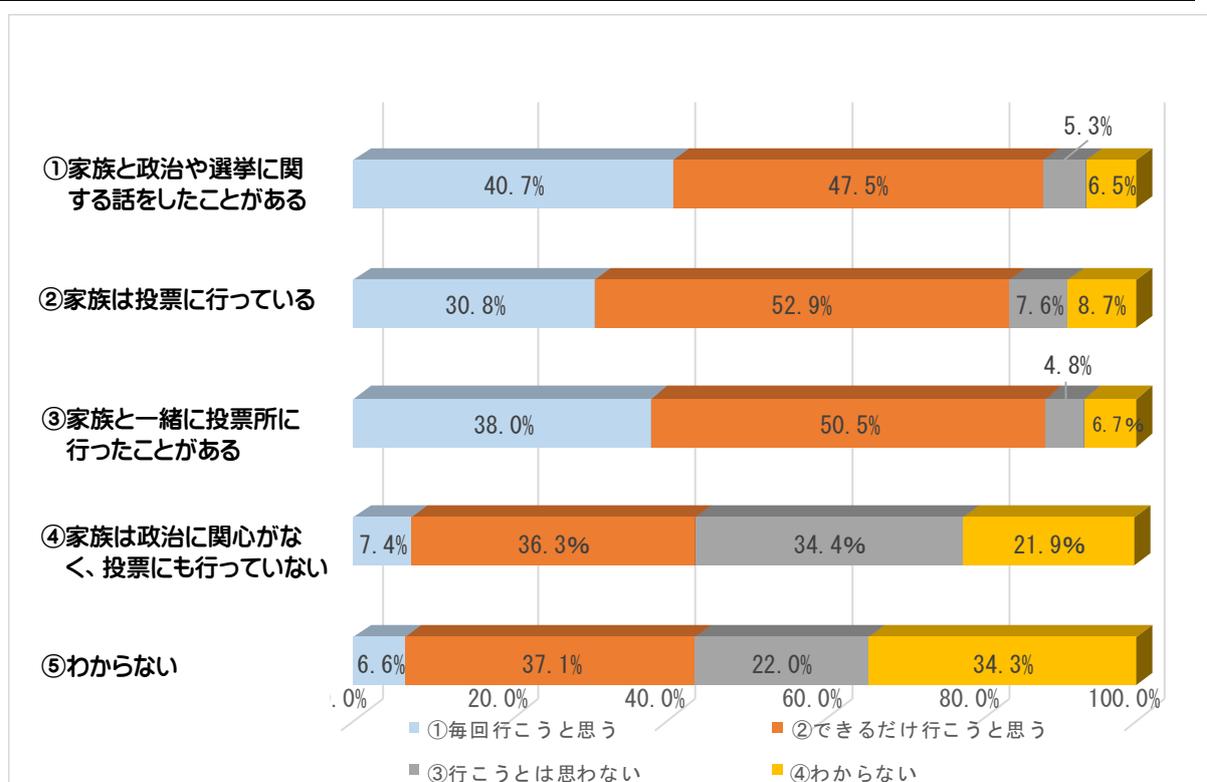
家族の政治・選挙への関心に関する質問（Q6）で①から③のいずれかを回答した生徒は、政治への関心（Q1）の質問に対して、5割以上が「①非常に関心がある」または「②ある程度関心がある」と回答した。

一方で、Q6で④または⑤と回答した生徒の7割以上が「③あまり関心がない」「④全然関心がない」「⑤わからない」と回答した。

このことから、家族の政治・選挙への関心の有無は、若い世代の政治への関心と密接に関連していることがうかがえる結果となった。

③家族の政治・選挙への関心（Q6）×次回選挙で投票に行くか（Q4）

Q6 \ Q4	①毎回行こうと思う	②できるだけ行こうと思う	③行こうとは思わない	④わからない
①家族と政治や選挙に関する話をしたことがある	40.7%	47.5%	5.3%	6.5%
②家族は投票に行っている	30.8%	52.9%	7.6%	8.7%
③家族と一緒に投票所に行ったことがある	38.0%	50.5%	4.8%	6.7%
④家族は政治に関心がなく、投票にも行っていない	7.4%	36.3%	34.4%	21.9%
⑤わからない	6.6%	37.1%	22.0%	34.3%



【結果】

家族の政治・選挙への関心（Q6）の質問で①から③と回答した生徒は、次回選挙で投票に行くか（Q4）という質問に対して、8割以上が「①毎回行こうと思う」または「②できるだけ行こうと思う」と回答した。

一方で、Q6で④または⑤と回答した生徒の5割以上が「③行こうとは思わない」または「④わからない」と回答しており、家族の政治・選挙への関心と若者の投票意識は密接に関連していることがうかがえる結果となった。